

潮音寺だより

第 286 号
平成 19 年 8 月
電話 052-671-4831
ファックス 052-671-4856

<ホームページ> <http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1-10-11

不飲おんじゆ酒
不妄もうご語
不邪じゃいん淫
不偷ちゆうとう盜
不殺せつしよう生



生命いのちあるもの
害がいしてはならんぞ
殺ころしてはならんぞ
他人たにんのもの
盗ぬすつてはならんぞ
偷ぬすんでならんぞ
男女おとこの
淫ひんらな邪まな
交まじわりはならんぞ
人ひとを
欺あざむきは騙たぶす
嘘うそはならんぞ
心こころを乱みだし
酔よめい痴ちれる
酒さけも麻あし薬ぐすりも
ならんぞ
ならんぞ

諸悪莫作しよあくもくさく

最近、引つたくりや詐欺たぎ、さらに凶悪殺人事件と、悪いニュースを聞くことがなんと多いことでしょうか。原因はいろいろ考えられますが、道徳心が希薄になつてきているところでは、多くの方が肌で感じておられるのではないのでしょうか。そこで、仏教道徳について考えをみることにいたします。

『法句経』二八三(友松圓諦訳)に
 ありとある
 悪を作さず
 善きことば
 身をもつて行い
 おのれの「心」を
 きよめんとせ
 諸仏のみ教えなり

とあります。

漢訳されたものとして

諸悪莫作 衆善奉行
 自淨其意 是諸仏號

があります。「偈文」は、「七仏通戒偈」といわれ、過去七仏(釈尊以前に現れたとされる六人の仏たちを併せていう)が共通して保つたといわれる偈で、いわば仏教思想を一偈に要約したものと見て、今日でも広く誦唱じゆくわうされています。

道元禪師が『正法眼蔵』第二十一「二」の「諸悪莫作」について述べられていますが、興味深いエピソードを引用されています。

中国の詩人で有名な白樂天が、杭州の長官であったとき、山林の樹の上で仙人のような生活をしている道林禪師を訪ねた。早速、禪師

に「仏教の根本の教えとは何か」と質問した。道林禪師は、即座に「諸悪莫作 衆善奉行」、すなわち「悪いことをするな、善いことをせよ」と答えたのだった。

あまりにも平凡な答えに白樂天はあきれて、「そんなことは三才の童子でも知っていることではありませんか、馬鹿にしないでください」と反発したところ、「三才の童子でも言うことはできるであろうが、八十の老人でさえ行うことは難しい」と答えたという……。

道元禪師という方は、「自分はわざわざ海を渡って中国(宋の時代)で学んできたけれども、眼横鼻直(眼が横に鼻が縦にしている)の、すなわち「あたりまえ」ということが人間のあり方だと悟って、だから他には一切何も持たずに手ぶら

で帰ってきた」とおっしゃっていただきます。そうしてみると、仏教・仏法は、「このあたりまえ」がキーポイントになるようです。

仏教での悪は悪業のことで、身・

□・意の三業に区別して「十悪」の場合、次のように示されます。

・身体による悪しき行為（身業）

① 殺生＝生き物をみだりに殺す

② 偷盗＝他人のものを盗む

③ 邪淫＝邪な性交をする

・言語による悪しき行為（口業）

④ 悪口＝悪口、人をののしる

⑤ 両舌＝二枚舌、人をあざむく

⑥ 綺語＝駄弁を弄する

⑦ 妄語＝嘘、偽りをいう

・心意による悪しき行為（意業）

⑧ 慳貪＝貪り、物惜しりする

⑨ 瞋恚＝怒り、憎む

⑩ 邪見＝邪悪な誤った見解

以上ですが、半分の「五悪」の場合には、①殺生、②偷盗、③邪淫、④妄語、⑤飲酒となります。これを戒めたものを「五戒」といいます。在俗信者向けの戒として、原始仏教時代に、すでに成立していたとされます。

「十悪」を戒めたものは「十善戒」といい、大乘仏教において、基本的なあるべき規範を示すもので、これを仏教道徳と考えてよいものと思います。ちなみに、「この中に「飲酒」が含まれていないのは、それ自体が悪として戒められたものではなく、過ぎるといけないという戒められたものだからと考えられます。

さて、今一度「諸悪莫作 衆善奉行」に振り返ってみることにします。

普通一般的には、「悪いことをするな、善いことをせよ」と、命令形で受け取りますが、仏道修行することにより、「悪はなされず、善はなされ」となり、さらには、「悪いことはしようにもできない、善を為さずにはおられない」となってくるものだと、道元禅師は指摘されています。

ただ、「不殺生戒」一つをとっても、他の命を間接的とはいえ、殺さずには生きていけないのが我々です。懺悔の心を忘れず、西山上人の「はげむも欣ばく、正行増進の故に、はげまざるも喜ばく、正因円満の故に」を糧に、南無阿弥陀仏と「あたりまえ」のよつに「諸悪莫作 衆善奉行」が滲み出るような生き方を心がけたいものです。それを、菩薩道といつのです。

お盆の行事を知らせ

○精霊お迎え

○平和公園墓地 8月12日 午前7時～正午

○潮音寺納骨堂 8月13日 午前7時～正午

○棚経

一応、例年どおりにお願いいたします。

「無理を願う場合があるかもしれません。」

その節はどうかよろしく。

○盆施餓鬼会

8月19日(日) 午後1時30分～2時30分

彼岸の行事を知らせ

○彼岸施餓鬼会

9月23日(日) 午後1時30分～2時30分

喫茶

まぎさ

今でこそ「喫茶店」くらいにしか用いなくなりましたが、もともとは禅宗から生まれたもの。「喫茶喫飯」とももちい、これは日常茶飯と同じく、

種子を持ち込み、後には『喫茶養生記』を著す。これは、茶の採取法、調法、病気への応用などについて記されたものである。

『仏教のことば』早わかり事典

日常生活の中にこそ仏道修行の本質があるという教えにもなっている。となれば、喫茶店は仏道修行の場？

ちなみに、

日本に茶をもたらしたのは臨済宗の栄西。

彼は、中国から禅宗と茶の

雑記

▼稚児募集

重ねての御願いです。来る10月28日(日)の位牌堂落慶法要での「お稚児」を募集中です。

お知り合いの方々にも、お誘いいただけますと有難いです。その節は申込み用紙を、必要数ご請求下さい。お願い申し上げます。

▼再び猫

外猫の環境はなかなか厳しく、四匹生まれ、一匹は死んでしまいました。ところが、どこからか、知らない子猫がやってきました、三匹仲良く丸まっています。猫世界は、なかなか奥深いものがあるようです。

◆膝まくり風懐かしむ

団扇かな 沐魚

